

教育コース通信 2025 (NO.4)

愛知県立豊橋南高等学校 教育コース

愛知教育大学訪問 (EDU1)

7月19日(土)1年生が愛知教育大学を訪問しました。午前はオープンキャンパスに参加し、自分の興味がある専攻・専修の説明会に参加しました。学食で昼食後、副学長・理事の杉浦慶一郎先生から愛知教育大学について教育コースの生徒のために講義をしていただきました。その後、教育コースの卒業生で愛知教育大学に進学した5期生3名が1年生に向けて、大学生活や高校生のうちにやってほしいことなどアドバイスをしてくれました。忙しい中、後輩のために来てくれてありがとうございました。



東北スタディツアー (EDU1)

7月22日(火)~24日(木)まで1年生が東北スタディツアーに参加しました。初日に生徒たちが訪問した宮城県は35℃を越す猛暑日で愛知県よりもとても暑かったです。仙台駅を降りて石巻市にある大川小学校跡地へと向かいました。ここでは2011年3月11日に東日本大震災による津波の影響で児童と教職員あわせて

84名が亡くなった場所になります。講師として徳水博志先生（当時、雄勝小学校教諭）をお招きし、当時何が起こったのかを話してくださいました。

生徒たちは荒れ果てた校舎を見て、津波の恐ろしさを知るとともに、「教育」の観点からどうすれば子どもたちを救えたのかと考えました。その後、雄勝小学校跡地へと移動し、実際に裏山へ上り、実際にどのような経路で逃げたのかを話してくださいました。今もなお当時の文房具等が落ちていて、生徒たちは実際の現場を自分の目で見ることの大切さも学びました。



東北スタディツアー2日目。生徒たちは民泊先でお世話になった方たちとさまざまな体験活動をしました。キーホルダーづくり、パスタ作りや農作業など楽しい時間を過ごすことができました。共に昼食をしたのち、お別れの時間は涙を流す生徒や離れたくないとずっと手を握りつづける生徒がいるなど、とても感動的な出来事でした。お世話になった民泊のみなさん、ご協力ありがとうございました。





民泊の方とのお別れの後、生徒たちは宮城県気仙沼高等学校を訪問し、学校間交流をしました。今年度から気仙沼高校の校長になられた白幡先生は、教育コース初年度の東北スタディツアーで、当時、研究主任をされ、交流でお世話になりました。改めて再会できたことに縁を感じざるをえませんでした。学校間交流では始めに、生徒による震災講話のあと、気仙沼高校の生徒と一緒に協働ワークショップを行いました。「地域」をテーマに生徒は対話をしながら、お互いの地域について意見交換をしました。同世代の高校生が「未来の地域」を共に考える良い機会となりました。



東北スタディツアー3日目。最終日は松島に行きました。生徒たちは自由に松島を散策し、美味しいごはんを食べたり、家族にお土産を買うなどして楽しい時間を過ごすことができました。



ミナクル夏休み教室 (EDU2)

8月5日(火)～7日(木)大清水まなび交流館「ミナクル」にて夏休み教室を行いました。近隣の小学校に通う児童が夏休みの宿題を持参し、本校2年生が宿題のサポートとして活動しました。この活動は10月に行われる小学校体験実習の事前学習の一環として行われているため、生徒たちには「教えること」の難しさを体験してもらいました。いつも夏休みになると、この活動を楽しみにしていた児童たちが多く、小学校1年生からずっと通ってくれている子もいます。高校生は子どもたちの宿題にヒントを出すなど工夫しながら、サポートしました。



ミナクル高校生おはなし会 (EDU)

7月27日(日)、8月23日(土)、24日(日)に大清水まなび交流館ミナクルにて高校生おはなし会を行いました。高校生は絵本の読み聞かせや手遊びを通して、話を聞いてくれた親子と交流を深めました。

